

# 新型コロナウイルス感染拡大に伴う 各年代リーグ戦の実施方法(特別措置)について(改訂版)

- ◆ U-12FAリーグ
- ◆ U-15リーグ (地域リーグ・都道府県上位リーグ)
- ◆ U-15女子リーグ(地域リーグ)
- ◆ U-18リーグ (プリンスリーグ・都道府県上位リーグ)

Japan Football Association

2020年4月30日 **4/30 改訂版**  
公益財団法人日本サッカー協会  
強化育成部



弊部より4/10(金)付で展開した各種別のリーグ方針について、新型コロナウイルスの影響を鑑み、一部方針を改訂させて頂きましたので、本書にてご説明致します。

---

これまでは出来る限り、当初の計画に近い試合数を確保することを目的に方針を検討を重ねてまいりました。しかしながら各地で緊急事態宣言が発令される自体となったこと、そして選手の休止期間も長期化する中で復帰に向けては十分な時間を費やす必要が出てくること等、本書の発信当初から状況も大きく変化しております。その為、毎週更新版の方針を展開する事態となり、リーグ所属チームならびに運営ご担当者様、そしてリーグに関わる全ての皆様に対し、ご不便をお掛けしておりますこと、ここにお詫び申し上げます。

リーグをやめる判断は簡単に出来るかもしれませんが、冒頭にございます通り、出来る限り選手のゲーム環境を創出するという考えをご理解頂き、引き続きご協力賜れますようお願い申し上げます。

原則としてリーグ戦の要件・進め方は各地域/都道府県FA側のご判断にお任せしておりますが、上位リーグの方向性も含め、JFAとしてU-12・U-15・U-18のリーグ戦の開催方針を定めましたのでここにご案内差し上げます。

**全ては関わる方の健康・安全を最優先することを前提に、政府・行政および学校方針に準じて、くれぐれも無理のない実施を検討下さい。**

なお、本方針は新型コロナウイルスによる影響を鑑み今年度に限定した特例方針となりますこと、ご理解頂けますようお願い致します。

リーグの開催にあたっては地域ごとに異なる課題が挙がることと存じますので地域のユースダイレクターと相談の上、対応頂けると幸いです。

## 【ご案内】

今回改訂した箇所のみ**赤字**としておりますので予めご承知おき下さい。

## 【対象事業】

- ◆ U-12FAリーグ
- ◆ U-15リーグ（地域リーグ・都道府県上位リーグ）
- ◆ U-15女子リーグ（地域リーグ）
- ◆ U-18リーグ（プリンスリーグ・都道府県上位リーグ）

## 【資料構成】

（前回(4/3時点)展開内容）

- ・当初の基本条件
- ・3/16発信の特別措置
- ・4/3発信の特別措置
- ・4/10発信の特別措置

（今回展開内容:改訂版）

- ・今回の特別措置

# 前回(4/10発信分)からの変更点(4/30時点)

【前提方針】 リーグ開催の考え方(優先順位)

→次ページにて開催にあたっての原理原則の優先順位を再定義しました。

【前提条件】

※関わる方の健康・安全を最優先することを前提に、政府・行政および学校方針に準じて、  
くれぐれも無理のない実施を検討下さい

【変更内容】

U-12年代

【変更点】

4/10発信内容に「昇降格」の文言追記。

U-15年代

U-15年代女子

【変更点】

年間を通じた1回戦制が難しい場合は、  
各種連盟大会と調整の上、出来る限りの試合の確保を目指し、  
各地域・都道府県内にて柔軟に対応すること。  
なお、昇降格については地域リーグの方針に基づき、都道府県リーグも判断。

U-18年代

【変更点】

・プレミアリーグの昇降格が無くなったことに伴い、  
プリンスリーグおよび都道府県リーグも原則昇降格は無しとする。

※次ページより、詳細説明

## リーグ開催可否判断の原理原則の優先順位

1. 政府・自治体・学校の自粛方針を尊重した上で、関わる全ての方の健康・安全
2. 所属チーム活動（日常活動）の確保、優先
3. リーグ実施

補足事項：下記を総合的に鑑みて判断していく

1. 政府・自治体・学校の自粛方針が解除された上で、選手の所属学校の再開
2. 所属チーム活動の再開
3. 移動（公共交通機関利用）のリスクがない状態 ※政府（自治体）による移動制限解除
4. 所属チーム活動再開から一定期間の確保（選手コンディション考慮）

## U-12年代:当初の基本条件

- リーグ戦参加条件に制限なし
- 複数チームの参加がオープン
- 土日で最大2試合まで認める。年間を通してバランスよくカレンダーを置く
- 年間20ゲーム程度のリーグ戦を実施
- 年間（最低4月～10月）を通した基軸となるリーグ戦

### 補足事項

【開催目的】年間リーグ（8人制）にて試合を重ね、テクニック（技術・判断）を向上させる

【全日本U-12選手権出場チームの決め方】

- ①都道府県リーグ参加しているチームがJFA 全日本U-12サッカー選手権大会 都道府県大会に参加できる
- ②都道府県代表決定はリーグの結果を反映させ行うものとし、代表決定のための大会方式については都道府県協会に委ねる

## U12年代：3/16発信の特別措置

- ① 4月開始が可能な場合・・・「当初の基本条件」の変更は不可
- ② 5月以降に開始が遅れる場合・・・「当初の基本条件」のうち、下記のみ変更可能

現行

土日で最大 **2** 試合まで認める。



変更後

土日で最大 **4** 試合まで認める。

※1日の最大可能試合数は**2**試合までとする

※2連休・3連休・4連休のいずれでも、  
最大可能試合数は**4**試合までとする

# U12年代：4/3展開の特別措置

- ① 4月開始が可能な場合・・・「当初の基本条件」の変更は不可
- ② 5月以降に開始が遅れる場合・・・「当初の基本条件」のうち、下記のみ変更可能

現行

3/16  
変更後

土日で最大 **2** 試合まで認める。



変更後

土日で最大 **4** 試合まで認める。

※1日の最大可能試合数は**2**試合までとする

※2連休・3連休・4連休のいずれでも、最大可能試合数は**4**試合までとする

## ■U-12選手権への反映方法について

前提条件として、前回指し示した土日(2日以上)の連休で最大4試合認める方針のもと、当初予定していた試合数の消化は目指す。

但し、リーグの開始時期によって全ての節の消化が難しいと判断される場合は、

**区切りの良いタイミング(例:前期終了時点等)の結果を**

**JFA 全日本U-12サッカー選手権大会 都道府県大会に反映することを認める**

4/3  
変更後



## 【特別措置】

■今年度のリーグ実施方法は主催協会の判断に委ねる。

- ・リーグ戦実施方法(実施の試合数・成立条件・昇降格)
- ・JFA全日本U-12サッカー選手権大会 都道府県大会への反映方法

※関わる方の健康・安全を最優先することを前提に、政府・行政および学校方針に準じて、くれぐれも無理のない実施を検討下さい。

### 【実施時の特別措置】

土日で最大 **4** 試合まで認める。

※1日の最大可能試合数は**2**試合までとする

※2連休・3連休・4連休のいずれでも、最大可能試合数は**4**試合までとする

## U-15年代:当初の基本条件 (地域リーグ・都道府県上位リーグ)

- ❑ 年間20ゲーム程度の2回戦制のホーム & アウェイ
- ❑ 8～9か月間の年間リーグ リーグの開始時期は3月以降  
【降雪地域は14～16ゲーム、年間6～7か月】
- ❑ 能力別リーグ (U-15) であり、リーグ同士の入れ替えであること
- ❑ 複数チームの参加に制限なし
- ❑ 前後期の入れ替えは認めない
- ❑ 都道府県上位リーグの考え方 (例)
  - ・ 県内のリーグが3部までである場合：1部リーグは基本条件を満たしていること
  - ・ 県内のリーグが4部以上である場合：2部リーグまで基本条件を満たしていること

## U-15年代：3/16発信の特別措置 (地域リーグ・都道府県上位リーグ)

【前提条件】 2020年11月15日(日)を高円宮杯 JFA 第32回全日本U-15サッカー選手権大会への各地域代表出場チーム決定の期日とする。

- ① 4月開始が可能な場合・・・「当初の基本条件」の変更は不可  
消化できなかった節の試合を予備日等で消化（2回戦制）
- ② 5月以降に開始が遅れる場合・・・「当初の基本条件」のうち、下記のみ変更可能

現行

年間20ゲーム程度の **2回戦制** のホーム&アウェイ



変更後

**前期を1回戦制でのリーグ戦とし、後期は前期リーグ順位に基づき上位グループ・下位グループに分けてのリーグ戦の実施を可能にする**

※リーグスタートが6月以降になった場合は後期は実施せず、  
上位と下位の4チームずつの順位リーグ戦にすることも可能にする

# U-15年代：4/3展開の特別方針 (地域リーグ・都道府県上位リーグ)

【前提条件】2020年11月15日(日)を高円宮杯 JFA 第32回全日本U-15サッカー選手権大会への各地域代表出場チーム決定の期日とする。

- ① 4月開始が可能な場合・・・「当初の基本条件」の変更は不可  
消化できなかった節の試合を予備日等で消化（2回戦制）
- ② 5月以降に開始が遅れる場合・・・「当初の基本条件」のうち、下記のみ変更可能

現行

年間20ゲーム程度の**2回戦制**のホーム&アウェイ



3/16  
変更後

前期を1回戦制でのリーグ戦とし、後期は前期リーグ順位に基づき上位グループ・下位グループに分けてのリーグ戦の実施を可能にする

※リーグスタートが6月以降になった場合は後期は実施せず、  
上位と下位の4チームずつの順位リーグ戦にすることも可能にする



4/3  
変更後

**年間を通して1回戦制を可能にする。**

【補足】4/1 競技運営部発信

「新型コロナウイルス感染拡大の影響による全国大会の地域・都道府県大会開催可否及び全国大会出場チーム選出について」より抜粋  
各地域、都道府県での競技会において、競技方式や日程の変更、また試合が消化できない場合の全国大会出場チームの決定方法に関しては、各地域・都道府県協会、各種連盟に委ねさせていただきます。各組織として機関決定し、定められた期限までに代表チーム名をご連絡頂ければ幸いです。

## U-15年代：4/30展開の特別方針 (地域リーグ・都道府県上位リーグ)

【前提条件】2020年11月15日(日)を高円宮杯 JFA 第32回全日本U-15サッカー選手権大会への各地域代表出場チーム決定の期日とする。

4/3  
変更後

年間を通して1回戦制を可能にする。



4/30  
変更後

年間を通じた1回戦制が難しい場合は、  
各種連盟大会と調整の上、出来る限りの試合の確保を目指し、  
各地域・都道府県内にて柔軟に対応すること。  
なお、昇降格については地域リーグの方針に基づき、都道府県リーグも判断。

【補足】4/1 競技運営部発信

「新型コロナウイルス感染拡大の影響による全国大会の地域・都道府県大会開催可否及び全国大会出場チーム選出について」より抜粋  
各地域、都道府県での競技会において、競技方式や日程の変更、また試合が消化できない場合の全国大会出場チームの決定方法に関しては、各地域・都道府県協会、各種連盟に委ねさせていただきます。各組織として機関決定し、定められた期限までに代表チーム名をご連絡頂ければ幸いに存じます。

## U-15年代女子(地域リーグ):当初の基本条件

- ❑ 年間14~18ゲーム程度の2回戦制とする。ホーム&アウェイが望ましい。
- ❑ 7~8か月間の年間リーグ リーグの開始時期は4月以降  
【降雪地域は10~14ゲーム、年間6~7か月】
- ❑ リーグは地域内で最大2つまで分割することが出来る。(九州は除く)
- ❑ 2回戦制とする。ホーム&アウェイが望ましい。
- ❑ 同日に同会場で2試合以上を実施してもよい。但し、チームの連戦はおこなわない。
- ❑ 同一リーグ内では、リーグの節は揃える。
- ❑ 2日間の連戦はおこなわない。

## U-15女子リーグ(地域リーグ)：3/16発信の特別措置

- ① 4月開始が可能な場合・・・「当初の基本条件」の変更は不可  
消化できなかった節の試合を予備日等で消化（2回戦制）
- ② 5月以降に開始が遅れる場合・・・「当初の基本条件」のうち、下記のみ変更可能

現行

年間14~18ゲーム程度の**2回戦制**。※ホーム&アウェイが望ましい



変更後

**前期を1回戦制でのリーグ戦とし、後期は前期リーグ順位に基づき上位グループ・下位グループに分けてのリーグ戦の実施を可能にする**

※リーグスタートが更に6月以降になった場合は後期は実施せず、  
上位と下位の4チームずつの順位リーグ戦にすることも可能にする

# U-15女子リーグ(地域リーグ)：4/3展開の特別措置

- ① 4月開始が可能な場合・・・「当初の基本条件」の変更は不可  
消化できなかった節の試合を予備日等で消化（2回戦制）
- ② 5月以降に開始が遅れる場合・・・「当初の基本条件」のうち、下記のみ変更可能

現行 年間14~18ゲーム程度の**2回戦制**。※ホーム&アウェイが望ましい



3/16  
変更後

前期を1回戦制でのリーグ戦とし、後期は前期リーグ順位に基づき上位グループ・  
下位グループに分けてのリーグ戦の実施を可能にする

※リーグスタートが更に6月以降になった場合は後期は実施せず、  
上位と下位の4チームずつの順位リーグ戦にすることも可能にする



4/3  
変更後

年間を通して**1回戦制**を可能にする。



## U-15女子リーグ(地域リーグ): 4/30展開の特別方針

4/3  
変更後

年間を通して1回戦制を可能にする。



4/30  
変更後

年間を通じた1回戦制が難しい場合は、  
各種連盟大会と調整の上、出来る限りの試合の確保を目指し、  
各地域・都道府県内にて柔軟に対応すること。  
なお、昇降格については地域リーグの方針に基づき、都道府県リーグも判断。

## U-18年代:当初の基本条件

### (プリンスリーグ・都道府県上位リーグ)

- ❑ 年間20ゲーム程度の2回戦制のホーム & アウェイ
- ❑ 8～9か月間の年間リーグ リーグの開始時期は4月以降  
【降雪地域は14～16ゲーム、年間6～7か月】
- ❑ 能力別リーグ (U-18) であり、リーグ同士の入れ替えであること
- ❑ 複数チームの参加に制限なし
- ❑ 前後期の入れ替えは認めない
- ❑ 都道府県上位リーグの考え方 (例)
  - ・ 県内のリーグが3部までである場合：1部リーグは基本条件を満たしていること
  - ・ 県内のリーグが4部以上である場合：2部リーグまで基本条件を満たしていること

## U-18年代：3/16発信の特別措置 (プリンスリーグ・都道府県上位リーグ)

- ① 4月開始が可能な場合・・・「当初の基本条件」の変更は不可  
消化できなかった節の試合を予備日等で消化（2回戦制）
- ② 5月以降に開始が遅れる場合・・・「当初の基本条件」のうち、下記のみ変更可能

現行

年間20ゲーム程度の**2回戦制**のホーム&アウェイ



変更後

前期を1回戦制でのリーグ戦とし、後期は前期リーグ順位に基づき上位グループ・下位グループに分けてのリーグ戦の実施を可能にする

※リーグスタートが6月以降になった場合は後期も実施せず  
上位と下位の4チームずつの順位リーグ戦にすることも可能にする

# U-18年代：4/3展開の特別措置 (プリンスリーグ・都道府県上位リーグ)

- ① 4月開始が可能な場合・・・「当初の基本条件」の変更は不可  
消化できなかった節の試合を予備日等で消化（2回戦制）
- ② 5月以降に開始が遅れる場合・・・「当初の基本条件」のうち、下記のみ変更可能

当初 年間20ゲーム程度の**2回戦制**のホーム&アウェイ



**3/16  
変更後** 前期を1回戦制でのリーグ戦とし、後期は前期リーグ順位に基づき上位グループ・  
下位グループに分けてのリーグ戦の実施を可能にする

※リーグスタートが6月以降になった場合は後期も実施せず  
上位と下位の4チームずつの順位リーグ戦にすることも可能にする



**4/3  
変更後** 年間を通して**1回戦制**を可能にする。

# U-18年代：4/30展開の特別措置 (プリンスリーグ・都道府県リーグ)

当初 年間20ゲーム程度の**2回戦制**のホーム＆アウェイ



3/16  
変更後 前期を1回戦制でのリーグ戦とし、後期は前期リーグ順位に基づき上位グループ・下位グループに分けてのリーグ戦の実施を可能にする



4/3  
変更後 年間を通して**1回戦制**を可能にする。



4/30  
変更後

- ・プレミアリーグの昇降格は無し
- ・上記方針に伴い、プリンスリーグおよび都道府県リーグの昇降格も原則無しとする。

現状の新型コロナウイルスの感染拡大状況および、活動休止期間が長期化する中で、

- ・選手に対し十分な復帰期間を設けること
- ・7月・8月は暑熱対策、連盟大会、所属学校を考慮すること

上記を検討した結果、早くても9月以降での開幕が賢明であると判断。

リーグの成立および公平性が保てないと判断した為、

# Thank you.

**【本件に関する問い合わせ先】**

公益財団法人 日本サッカー協会  
強化育成グループ

**【男子リーグ】**

上田 達也 080-1241-5809  
tatsuya.ueda@jfa.or.jp

須田 剛史 070-3605-6042  
takeshi.suda@jfa.or.jp

**【女子リーグ】**

奈良輪 織恵 080-9807-6359  
orie.narawa@jfa.or.jp